



2回目の登校日になります。本日の配布物や回収物を掲載します。

— 回収物 —

- ・国 語
 - ☐ 漢字練習ノートのプリント2枚(裏表)
- ・理 科
 - ☐ プリント1枚(3年生の範囲)
- ・英 語
 - ☐ 2年のエイゴラボ
- ☐ 健康観察記録用紙

になります。

— 配布物 —

- ・理 科
 - プリント1枚
- ・オンライン授業用のワークシート
 - ☐ 数学(3枚) ※ オンライン授業を見て、リポートも進めておくこと。
 - ☐ 国語(1枚) ☐ 英語(1枚) ☐ 理科(1枚) ☐ 社会(1枚)

計7枚

- ・ゆめなび70(進路通信)
- ・学年通信
- ・オンライン授業について(生徒用・保護者用)
- ・健康観察記録用紙

次回登校日

5月25日(月)です。

9:00～ 出席番号 1番～15番
 11:00～ 出席番号 16番～30番
 14:00～ 出席番号 31番～

よろしくお願いします。

変更等がありましたら、学校のホームページまたは、ライデンメールでお知らせします。

5月7日から頑張りたいこと 【抜粋】

- ・3年生で最高学年になるので、西中学校の代表になるという自覚をもって学校生活をしたと思います。そして責任を持てるようにしたいと思います。部活でも、後輩に頼ってもらえるようにしたいです。そして周りを見ることができるようになりたいです。5月からになって始業式もまだ無く、あまり3年の自覚は正直ないからこそ、最初に言ったように、自覚を持てるようにしたいと思います。勉強も今年は受験生なのであとあと後悔しないように、頑張っていきたいと思います。
- ・勉強はもちろんのこと、運動や友達関係でも頑張りたいと思います。勉強面では苦手な教科の点数を上げること、復習と予習をするようにしようと思います。3年生では受験があってとても大切な一年なので無駄にしないようにしようと思います。そして、苦手な体育も少しはできるようになればなと思います。毎日適度に運動することを心がけて過ごすように頑張ります。友達関係に関しては、せっかく引っ越してきたんだし、新しい友達を作れるように頑張りたいと思います。せっかくなんだからいろんな人と関わってみたいし友達になりたいから自分から積極的に話しかけられるように頑張ります。
- ・1番頑張りたいことは学校に通えなかった2か月ぐらいの間の分を取り返すくらい、友達とたくさん話して、思い出をつくることです。中3になって行事でも日常でも中心になることが多いし、あと1年しか中学校にも通えないので、新しいクラスでもよいクラスを作れるように、班長や学級員をしたいなと思います。そして、それと同じぐらい頑張りたいのは勉強です。休校中に高校についてたくさん調べて、志望校と自分の学力の差がどれぐらいなのか知ることができたので、受験当日が楽しみになるくらいまで楽しみながら勉強したいです。部活も頑張りたいです。
- ・西中学校のメンバーで過ごすのもあつという間だだと思います。仲間とのつながりを大切にしながら、勉強面、生活面ともに悔いの残らないように精一杯頑張りたいと思っています。
- ・最高学年としての自覚を持ち、また受験生としての自覚も持ち、中学校生活最後の1年間を学問においても友情においても充実したものにしたい。そして自分の進路についても深くじっくりと考え、そのためには何をすべきかも考え、努力していきたい。卒業式の日に「中学校生活3年間楽しかったな」と胸を張って言えるような学校生活にしたい。

休校期間中に頑張ったこと 【抜粋】

- ・あんまり家のお手伝いとかあんまりしていなかったのでこの休校期間中でお手伝いを毎日して、少し家のことがわかったなと思ったので、休校期間中だけでなく、普段の生活で少しずつ家のお手伝いをしようかなと思いました。
- ・読書をたまにして心に残った言葉などをメモしたり、今の自分の大切なことを見つめなおして、自己啓発のようなことをしたりしてみた。すると、今本当に大切なことや、今後の大切にしたいようなことがなんとなくうっすら見えたりして、少し心の励みになった。
- ・普段よりも自由な時間が多かったので、料理をしたりお菓子を作る、裁縫するなど自分がしたい事して有意義に過ごすことができたと思います。・・・料理や裁縫をして、普段親は仕事をしながらこんなに大変なことをしてくれていたのかと分かって、改めて感謝しないといけないと思いました。

先生からのメッセージ

- ・この自粛期間中、テレビで“Darkest Before Dawn”という曲を聴きました。曲の意味は“夜明け前が一番暗い”という暗闇がタイトルに入っているものですが、決してネガティブなものではなく、“夜明けがあるからこそ、今、暗いんだ”というポジティブなものでした。自粛期間が続き、今が一番暗い時期なのかそれともまだこれ以上に暗くなる可能性があるのか、それは分かりませんが、この自粛期間中の一人ひとりの行動、意識で現状はドンドン夜明けに向かっていていると信じています。“明けない夜はない!”そのことを信じて生活を続けていきましょう。